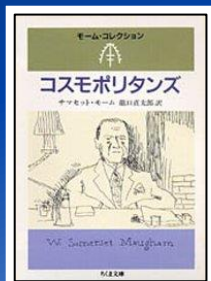




自分にとってノンフィクションや旅など、色々な世界の扉を開くきっかけになった本です。読書によって未経験のことを体験できると知ったのもこの本でした。乗合いバスでロンドンを目指す旅路に憧れ、地図を広げたりもしたものです。装丁も大のお気に入りです。



短編小説が好きです。特にこの作品集は、簡潔ながら独特のユーモアがあり、何より描かれている人物やエピソードが面白いのです。モームは人間観察が好きなのだあと感じます。私にとって、短編小説を読む楽しみが詰まった宝箱のような一冊です。

『深夜特急1~6』

沢木 耕太郎著
新潮文庫
B915サ1~6
篠崎ほか所蔵

『コスモポリタンス』

サマセット・モーム著
筑摩書房
B933モ
篠崎所蔵

スタッフのセレクション

篠崎図書館で働くスタッフが選んだおすすめ本を紹介します。

『愛しのインチキガチャガチャ大全 コスモスのすべて』

ワッキー貝山集 池田 浩明著 双葉社 759ワ 篠崎ほか所蔵

今ガチャガチャが静かなブームとなっていますが、私も子どもの頃、ガチャガチャにはまっていた、お小遣いのほとんどをつぎ込んでいました。特に月1回母の実家に行く時にだけ買えるコスモスというメーカーのガチャガチャが本当に楽しみでした。その景品は手裏剣や刀、ゲームなど子どもの頃私にとって魅力的なものばかりでした。

コスモスとは著作権無視、雑なつくりのガチャガチャの景品を粗製乱造したメーカーです。駄菓子屋に赤くて大きな自動販売機のような形状のコスモスの販売機が置いてあったのを憶えている方も少なくないと思います。本書は、そのコスモスの景品を消しゴム、ゲーム、アイドルグッズといったジャンルごとに著者の解説付きで紹介しています。そ

の商品の粗さに今では笑ってしまうものもありますが、それでもこれだけ網羅してあると、とても楽しい気持ちになります。また、こんな景品もあったのかという新たな発見もありますよ。後半にはコスモス関係者のインタビューがあり、裏話や当時の経営状態などを語っています。

本書は、当時コスモスの景品を買った世代はもちろん、コスモスを知らない世代もカタログ感覚で楽しめる一冊です。バラエティに富んだインチキガチャガチャの世界をご堪能下さい。

余談ですが、私の兄が当たった爆弾の景品のパッケージに書かれている絵(P66参照)が強烈で使用すると家が壊れると思い、泣きながら使用を止めたことがありました。今となってはいい思い出です。

創刊50号を迎えて

2008年7月に創刊した図書館報「ぷらっつ☆篠崎」はおかげさまで50号を迎えることができました。広報紙作成の知識がまったく無かった私が編集長として今号に至るまで発行できたのは、ひとえに読者の皆様のご支援と歴代編集員、図書館スタッフの協力があったからです。これからも皆さまのお役に立てる情報を発信していけるよう努力してまいります。今後とも図書館報「ぷらっつ☆篠崎」をよろしくお願いいたします。

編集長 根本 竜次

編集後記

「出版社社長が薦める図書館で読み継いでいきたい本たち」、読み応えたっぷりの冊子になっております。ぜひお手元に。(徳丸) / 50号という響きが感慨深いです。また次の節目に向かって頑張ろうという気持ちになります。(しろやぎ) / 自分以外のベスト本に興味津々です。(まゆげ)

編集・発行：江戸川区立篠崎図書館
住所：〒133-0061

江戸川区篠崎町7-20-19 篠崎文化プラザ内
TEL:03-3670-9102
[しのぎ文化プラザHP]内篠崎図書館ページ
<http://www.shinozaki-bunkaplaza.com/library/>

ベスト オブベスト

P1 江戸川まいにんぐ
「江戸川清掃工場」

スタッフのセレクション
P4 「愛しのインチキガチャガチャ大全
コスモスのすべて」

図書館報

ぶらっつ★篠崎

祝050号



2016年読書週間標語 いざ、読書。

10月27日(木)から11月9日(水)は、「読書週間」です。篠崎図書館内では今年も、読書週間にちなんだ企画展示を実施します。その企画内容とは……。

特別展示

「出版社社長が薦める図書館で読み継いでいきたい本たち」

10月25日(火)～11月27日(日)

日本の出版文化を牽引する出版社のトップに、図書館で永く読み継いで欲しいと願う作品をご紹介いただきました。あえて自社出版物と新刊書を除くという条件の下、約40社の出版社より心に残る大切な一冊を選んでいただいております。

篠崎図書館ではご紹介いただいた本をご自由にお読みいただけるよう一堂に集めて展示いたします。またこれらをまとめた小冊子も配布予定です。社長たちの熱い言葉が詰まった小冊子を片手にぜひご覧ください。

江戸川まいにんぐ 発掘 第50回 江戸川清掃工場

江戸川清掃工場は1966年10月から現在と同じ場所で稼働しています。2000年に東京都から東京二十三区清掃一部事務組合に移管されています。主に江戸川区で収集された可燃ごみを処理する施設です。

そんな江戸川清掃工場の個人見学会に先日参加してきました。職員の方からお話を伺い、ごみの分別を徹底することの重要さを感じました。現在残念ながら、決められた可燃ごみ以外のごみの混入が後を絶たないそうです。一例ですが、布団(粗大ごみ)や針金ハンガー(不燃ごみ)が入ると機器に異常が出てしまいます。そうすると操業を一度停止しなくてははいけません。停止・再稼働には莫大な費用がかかります。一人一人の心がけで安定的な工場の運転を支えたいものです。

江戸川清掃工場では月に1～2回見学会を行っています(要事前申込)。このような施設を見学し、身近な生活の間

江戸川区内のイベントやスポットを、スタッフが調査して身近な情報をお届けする、地域密着型のコーナーです。

題を改めて考えるきっかけにしてみませんか。



ごみを一時貯めておくバンカ。巨大クレーンでごみを混ぜ、焼却炉に投入します。

住所 東京都江戸川区江戸川2-10

参考資料

『江戸川清掃工場』 東京二十三区清掃一部事務組合編 東京二十三区清掃一部事務組合 K1-51 篠崎ほか所蔵
『江戸川区政50年史』 江戸川区区政情報室区史編纂室編 江戸川区 K1-21 篠崎ほか所蔵

イベント情報

バリアフリー映画会『西の魔女が死んだ』

※日本語字幕及び音声ガイド付きの映画です

11月3日(木)

14時 開演
(13時30分 開場)

場所: 篠崎文化プラザ 講義室
定員: 50名(事前申込制)
10月15日(土)14:00から図書館カウンター
または電話(3670-9102)にて受付。

6館合同 歴史講演会「真田丸」 『第4回 真田信繁とその時代』

講師: 平山 優氏

11月20日(日)

14時 開演
(13時30分 開場)

場所: 篠崎文化プラザ 講義室
定員: 70名(中学生以上、事前申込制)
10月29日(土)14:00から図書館カウンター
または電話(3670-9102)にて受付。